



Next Seminar

2 THU
/ 1



Feb,1,2024

2/1 バトルタンク (ラジコン戦車) で
チームビルディング研修体験セミナー

今回の体験セミナーでは VUCA 時代に求められる
チームワークや OODA ループについて学んで
もらいながら、これからの時代に成果を出すチ
ームについて考えてもらいます。

その上で、実践ではその場でバトルタンク (ラ
ジコン戦車) を使い、変化の激しい状況下での
チームワーク体験してもらいながら、チームワ
ークやリーダーシップについて体験的に、実践的
に学んで頂きます。

詳細はこちらです。
<https://qr.paps.jp/yFpE7>

STEAM 教育とこれから人財育成の在り方

今回は、STEAM 教育とこれからの人財育成の在り方について考えてみたいと思います。

皆さんは、STEAM 教育というのをご存知でしょうか？

私も先日新聞を読んでいてはじめて、この言葉を知りました。

STEAM 教育は、「Science (科学)」、「Technology (技術)」、「Engineering (工学)」、「Art (芸術)」、「Mathematics (数学)」の頭文字を取ったもので、これらの分野を統合的に学ぶ教育アプローチを指します。

伝統的な STEM 教育に「Art」を加えることで、科学や技術の学びに創造性やデザイン思考を取り入れています。

科学、技術、工学、芸術、数学。

これらは、単に学術的な領域を超え、21 世紀のイノベーションと産業成長の核心に位置づけられています。

STEAM 教育は、これら分野の統合を促進することで、新しい時代の要請に応える人材を育成する手法として注目されています。

企業教育において STEAM は、従業員が多角的思考を持ち、創造的かつ論理的に問題を解決できるようにするための手法として採用され始めています。

特に、以下の三つの側面でその価値が見出されています。

- 1) 複合スキルの養成
- 2) 創造力の促進
- 3) チームワークの強化

具体的にはどのような価値を見出すことができるのかを考えてみたいと思います。

まず 1 つ目の「複合スキルの養成」ですが、従業員に単一分野の専門知識だけでなく、異なる分野が交差する領域での思考能力を身につけさせることが、イノベーションを生む基盤となります。(次頁に続く)



STEAM 教育は、企業における人財育成だけでなく、子ども向けの教育手法としても注目されており、これからは専門分野をきわめて行く上でも、専門知識を高めていくうえでも、多面的な視点や知識が益々重要になってくると思います。

2つ目は、「創造力の促進」です。

芸術的要素を取り入れることで、技術や理論だけでなく、美的感覚やデザイン思考が生まれ、新たな価値創造につながります。

3つ目は、「チームワークの強化」です。

STEAM プロジェクトは多職種の協力によるものが多く、チーム内でのコミュニケーションや協働の機会を増やし、組織全体の生産性向上に貢献します。

VUCA 時代において、世の中は変化し、複雑に絡み合った問題が様々な発生します。

企業教育において、STEAM アプローチを採用することで、従業員が革新的な解決策を生み出し、チーム内外で効果的に協力する能力を高めることができます。

また、急速に変化するビジネス環境においては、これらのスキルは企業の持続可能な成長と競争力を保つ上で重要です。

さらに、STEAM 教育は従業員が新しいテクノロジーを迅速に習得し、創造的な問題解決を行うための土台を築きます。

芸術的な要素を取り入れることで、製品やサービスのデザイン面での革新も期待できるでしょう。

総じて、STEAM 教育は企業教育における革新的な要素となり得ます。

多様なバックグラウンドを持つ従業員が共同で作業する現代の職場において、STEAM は単に個々のスキルを超えた、チーム全体の能力を高める方法としての役割を果たす可能性があります。

まだ日本においては企業研修において、STEAM をうたっているものは少ないように思いますが、まさにこれから企業が求めているニーズには合致しているように思います。

単独の分野ではなく、様々な専門家がコラボレーションして、新たなプログラムを開発・創出していく必要があるようにも思います。

日本は、戦後からバブルと、これまで画一的で、記憶力を重視した教育をほどこしてきましたが、その限界がきているように思います。その反動でおこなったゆとり教育もしかりです。ジェネラリストが批判された時代もありますが、STEAM 教育はさらにその進化版にも思います。

個人的には、STEAM 教育に、さらに人間力の土台となる哲学や価値観、倫理など、人間力を磨くこともできないと思います。

それは日本版 STEAM 教育とでもいえるかもしれませんが。

江戸時代の日本では、寺子屋があり、そこで階級を超えて、多くの子供たちが様々なことを学べる機会があった。

その時に学んできた子どもたちが明治維新の原動力となり、その後の日本を作ったといっても過言ではないと思います。

今一度日本が復活するために、ぜひ民と官の枠を超えて、STEAM 教育と、さらにその先にあるオリジナルの日本版 STEAM 教育を作ることができれば、日本の復活もそう遠くないのではないのでしょうか。

Under Planning



STEAM 研修プロジェクト始動開始

弊社でも、STEAM 教育に関連した研修を提供することができないか、プロジェクトを始動することにしました。

詳細は順次、アントレラボ通信で告知してゆきますので、乞うご期待ください。



【コラム執筆】

人と人、人とコトの仲をつなぐ

仲津定宏

新聞を見ていて、STEAM 教育のワードが目にとまりました。言葉との出会いも、日々の生活の中であり、それを調べることで、自身の知見も高まっていく。

デジタルではない、アナログの新聞ゆえのメリットかもしれません。

研修実施報告

女性の自信と積極性をアップ研修実施報告



先日とある企業様の研修で、女性の自信と積極性をアップ研修を実施しました。

講師は、株式会社 デリリス 代表取締役の杉浦莉起（すぎうらりた）さんです。女性活躍やダイバーシティの時代背景から、組織や個人においてどのようなメリットがあるのか。

自信と積極性を上げながら、自身のもつリーダーシップ力を発見・強化し、ブレない行動指針を得るためのワークショップや知識を学んで頂きました。

ここでいうリーダーシップとは管理職などになることをさすのではなく、自分らしい積極的な行動が周りに与える影響力行動のことをさしています。